



CCH Tagetik ケーススタディ

## 味の素株式会社

Eat Well, Live Well.



### お客様名

味の素株式会社: Ajinomoto Co., Inc.

### 業種

- 食品事業
- バイオ&ファインケミカル事業

### CCH® Tagetik の利用分野

- CCH Tagetik Budgeting, Planning, and Forecasting
  - ローリングフォーキャスト  
(継続的予測)
  - 企業業績管理
- CCH Tagetik Financial Close and Consolidation
  - グループ連結管理
  - 財務・非財務情報の統合管理

「2025年3月期の事業利益の変動率を極めて安定的に管理することに成功し、業績予測の精度が大幅に向上しました。これは我々にとって大きな成果です。迅速かつ正確な数値開示により、個人投資家の信頼も高まり、長期的な投資家関係の構築に貢献しています。」

「経営管理プラットフォームCCH Tagetikの活用により、経営判断の精緻化に加えグループ間のシナジー強化できています。これがFP&Aである我々が果たすべき本質的な役割であると考えています。」

味の素株式会社 執行役常務 財務・IR担当 水谷 英一 氏

### 課題

2023年、味の素グループは従来の中期経営計画を全面的に見直し、目標設定のアプローチを刷新。四半期見通し策定からローリングフォーキャストへの移行を目指し、事業進捗をリアルタイムで把握できる体制へと変革を目指しました。

この変革に対し、同社の管理会計チームは既存システムの以下の課題に直面しました：

- 分散したデータ管理**  
予算・実績データと業績見通し・ローリングフォーキャストデータが、異なるマスターデータ構造を持つ別のシステムで収集されていました。これによりExcelベースの集計作業に膨大な手作業と時間が必要でした。
- 非財務情報の収集困難**  
販売数量や品目別売上といった財務諸表に現れない非財務情報は別システムで管理されており、多様なデータの一元管理やモニタリングが極めて困難でした。
- 事業部門への業務負担**  
各事業本部がデータ管理・入力において大きな業務負担を抱えており、ローリングフォーキャストへの移行にはシステムの自動化が不可欠でした。
- 経営判断のスピード欠如**  
分散されたデータ構造により、十分な情報に基づいた経営判断に必要なタイムリーで正確な情報の提供が阻害され、意思決定プロセスが遅くなっていました。

## 会社概要

- 主要事業：食品事業とアミノサイエンスを事業の両輪としてグローバルに展開
- 創業：1909年5月
- 従業員数：約35,000名（2025年3月末現在、グループ連結）
- 10事業部、180を超えるビジネスユニット、130カ国での事業展開、118の製造拠点（2025年3月末現在）

## 要件

- ローリングフォーキャストのシステム化
- 予測精度の向上と高度化
- 将来的なグループ連結管理の拡張性確保
- 柔軟なマスターデータ管理
- 財務情報と非財務情報の統合的な管理

「マスターデータを自由な拡張・カスタマイズできる柔軟性には本当に驚かされました。従来のシステムでは困難だった情報の一元管理が可能になり、連結会計と非財務情報の収集も柔軟に対応可能です。ローリングフォーキャストの実装に最適なシステムと判断しました。」

味の素株式会社 連結会計部 シニアマネージャー 依田 忠之 氏

## 目的・導入要件

味の素グループは味の素グループ・クリエイティング・シェアード・バリュー (ASV) 経営とローリングフォーキャスト推進のため以下の要件を満たすソリューションが必要でした：

- 柔軟なマスターデータ構造**  
ソリューションは従来システムの固定的なマスター制約を排除し、代わりに柔軟性、拡張性、カスタマイズ性を持つ必要がありました。130を超える国・地域で事業を展開する企業にとって、地域データの特性にも対応する事も重要でした。
- 多様なデータタイプの一元管理**  
ソリューションは予算・実績・業績見通し・ローリングフォーキャストを含むすべての管理会計データをカバーし、数量や重量といった非財務情報も収集可能な拡張性を備えている必要がありました。目標は、これまで分散していた情報の統合管理と分析の基盤構築でした。
- グローバル連結対応力**  
100を超える連結子会社のグループ構造をサポートし、複雑な連結プロセスを合理化するシステム能力が必要でした。企業間の多様なデータソースからの情報を一元的に収集・分析し、経営意思決定を加速するメカニズムが必要でした。

## ソリューション

味の素グループは、以下の理由からCCH Tagetik 予算編成・計画・予測プラットフォームを選択しました：

- 優れたマスターデータの柔軟性**  
CCH Tagetikのマスターデータ構造を柔軟に拡張・カスタマイズする能力により、味の素グループは以前のシステムの硬直的なマスターデータ制約から解放され、単一システム内での様々な情報の統合とローリングフォーキャストの実装を可能にしました。
- 包括的なデータ統合基盤**  
味の素グループは、予算管理から連結管理、レポート、分析まですべてをカバーするCCH Tagetikの包括的管理能力を評価しました。多様なデータソースからの財務・非財務情報を管理する能力も高く評価されました。
- 段階的拡張への適応力**  
段階的拡張への適応性：味の素グループは、内部リソースに負担をかけることなく活用範囲の段階的拡張を可能にするため、CCH Tagetikを選択しました。連結会計と非財務情報収集におけるCCH Tagetikの高い拡張性により、実装後の柔軟な機能展開のフレームワーク確立が可能になります。

## 効果と結果

### 目標値に対し極めて高い精度での予測に成功

2025年度において、味の素グループは事業利益の目標値に対する誤差を5%以内に収まる予測精度を達成。これは、各部門の業務改善への取り組みとシステム導入効果が相乗的に発揮された結果であり、正確な数値の迅速な開示により投資家対話と信頼が大幅に向上しました。

### ローリングフォーキャスト対象を29社から36社に拡大

味の素グループはローリングフォーキャストの対象を29社から36社へ拡大し、主要子会社の一元的なグローバル管理を実現しました。CCH Tagetikは、世界130を超える地域で事業を展開するグループ企業からの非財務情報を含む予算・実績データの収集と分析を統合しました。

### 180を超えるビジネスユニットにわたる多様なデータの統合

CCH TagetikのETL機能により、セグメント間に分散していた多様なデータが統合されました。これにより、経営陣と事業本部からの要求へのリアルタイム対応が可能になり、年間4本の追加主要レポート作成が実現しました。

### 年間200時間のローリングフォーキャストにかかる時間削減

予算・実績・ローリングフォーキャストデータのフォーマット標準化により、CCH Tagetikはローリングフォーキャストプロセスから月次15時間、年間約200時間を削減し、戦略的分析タスクのための時間を創出しました。

「CCH Tagetik導入により、  
予算・実績・ローリングフォー  
キャストのデータを統一フォー  
マットで取得可能になり、レポ  
ート作成効率が格段に向上し  
ました。定性情報の効率的な  
集約により、月15時間、年間  
約200時間の業務効率化を  
実現しました。」

味の素株式会社 連結会計部 連結予算業  
績グループマネージャー 馬場 綾 氏

## 今後の展望

### AI統合による分析の強化

味の素グループは、CCH TagetikのAIを活用した分析機能を組み込むことで財務戦略を発展させ、より迅速で高度な将来予測を可能にする計画です。

### 非財務情報統合の加速

味の素グループは、非財務情報を含む会計データをCCH Tagetikにさらに一元化し、本社、事業本部、グループ企業がそれぞれのニーズに合わせた経営情報に簡単にアクセスできる環境の構築を目指しています。

### SCM関連情報との統合拡大

味の素グループの計画には、ローリングフォーキャスト精度向上のためのSCM (サプライチェーン管理) 関連情報との統合推進が含まれています。

### グループシナジーの最大化

CCH Tagetikを使用して、味の素グループは経営意思決定を洗練し、グループ企業間のシナジーを強化することを目指しています。これは、FP&Aが果たすべき重要な役割として位置づけられています。

## お客様について

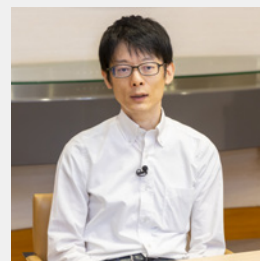
味の素グループは、味の素グループ・クリエイティング・シェアード・バリュー (ASV) を通じて社会価値と経済価値を共創する取り組みを推進しています。10事業部と180を超えるビジネスユニットで構成され、約130を超える国と地域で118の製造拠点をもちグローバルに事業を展開しています。



味の素株式会社 執行役常務  
財務・IR担当 水谷 英一 氏



味の素株式会社 連結会計部  
連結予算業績グループマネ  
ージャー 馬場 綾 氏



味の素株式会社 連結会計部  
シニアマネージャー  
依田 忠之 氏

## ウォルターズ・クルワーについて

ウォルターズ・クルワー (EURONEXT: WKL) は、医療、税務・会計、ガバナンス、リスク管理とコンプライアンス、法務・規制、経営管理・ESGの各分野における専門情報、ソフトウェアソリューションとサービスのグローバルリーダーです。深い専門知識とテクノロジー・サービスを組み合わせた専門的ソリューションを提供することで、お客様が日々重要な意思決定を行えるように支援しています。

ウォルターズ・クルワーは、2024年に59億ユーロの年間売上高を計上しました。同グループは180カ国以上の顧客にサービスを提供し、40カ国以上で事業を展開、全世界で約2万1,600人を雇用しています。本社はオランダのアルフェン・アン・デン・レインにあります。

CCH Tagetik詳細: <https://www.wolterskluwer.com/ja-jp/solutions/cch-tagetik>

LinkedIn: <https://www.linkedin.com/company/tagetik-japan>



**CCH® Tagetik**  
by Wolters Kluwer